

住民票不正異動防止へ

17.3.9 神戸

姫路市

今月から本人確認導入

本人が知らない間に住民票が不正に移され、犯罪に巻き込まれるケースが相次いでいることを受け、姫路市は八日までに、住民異動の申請者全員に対し、免許証などの身分証による本人確認を始めた。市によると、不審な住民票の異動は判明だけで二〇〇一年度から〇四年度二月までに計十三件発生。同市市民課は「本人確認によって入り口で犯罪を抑止できる。市民に協力してほしい」と話している。

(塩田武士)

住民票の不正な異動した。

姫路市は昨年十月から、住民異動の際に単身者に限って身分証の提示

を求めて対応してきたが、三月から申請者全員を対象に本人確認をしている。

県の調査によると、昨年末までに、県内八十市町(当時)のうち六十市町が窓口での本人確認作業を行っている。

で、同市内では、消費金融や携帯電話会社から身に覚えのない請求書が届いた人もいる。

豊岡市では昨年六月、四十代の女性会社員の住民票が明石市に移され、何者かが虚偽の保険証を使って購入した携帯電話で約三十五万円分の通話をしていたなどのケースもある。

総務省は今年二月、住民基本台帳事務処理要領を改正し、窓口での本人確認を全市町村に指示し